

家庭学習の充実に向けて

自立して主体的に学ぶ児童・生徒を育成するために

小平市教育委員会では、将来自立し、未来の社会を切り拓きながら生きていくために、自分で考え、判断し、行動できる児童・生徒の育成を目指しています。そこで、主体的な学びの実現に向けた手だての一つとして家庭学習に着目し、各校にリーフレットを配付し、推進してきたところです。この度、デジタルを活用した家庭学習を推進するため、学習者用端末を活用した家庭学習について追記しました。家庭学習の推進に向け、より一層校内で推進していただきますとともに、必要に応じて家庭への啓発や児童・生徒への指導にご活用ください。

こんな児童・生徒の様子が見られたり、保護者から相談を受けたりしたことはありませんか・・・

家に帰ってからなかなか学習が始まらない… 家での学習の仕方が分かっていない…

塾や部活で忙しい… 学習時間は確保できているが、学力が伸びない…

テスト直前に慌てて夜遅くまで学習している…



家庭学習のねらいについて、各学校からこんな意見がありました。

学習習慣の定着

学習内容の定着

（予習による）授業内容の理解促進

やり抜く力の育成

自ら課題を見付けて解決する力の育成

計画的に学習する力の育成

（保護者にとって）子どもの学習状況・学習面での課題の把握、子どもとのコミュニケーション

このような家庭学習のねらいを達成するための課題を三つに整理しました。

1 学力が伸びる学び方を身に付けさせる。

2 主体的、計画的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。

3 保護者と連携して取り組む。

ノートに自分のコメントを加えよう

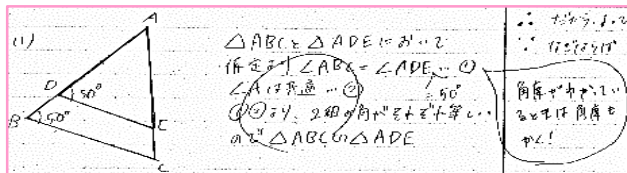
学習内容を定着させるには、家庭で復習することを意識して、定着させたい内容に関連した情報をノートに自分の言葉で残すことが効果的です。

・感じたこと ・わかったこと ・重要だと思ったこと ・疑問点 ・先生が話したこと など

＜コメント例 数学科＞

(2)
 $(4a^2 + 2a) \div \frac{1}{2}a$
 $= (4a^2 + 2a) \times \frac{2}{1a}$
 $= 8a + 2$

※ $2a \circ \frac{2}{a}$
 分母がまちがえる人
 多いから注意!



$$(4) \ominus x^2 + 3x + 9 = 0 \quad x_1, x_2 \in \mathbb{K}^d$$

$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{9 + 36}}{-2}$$

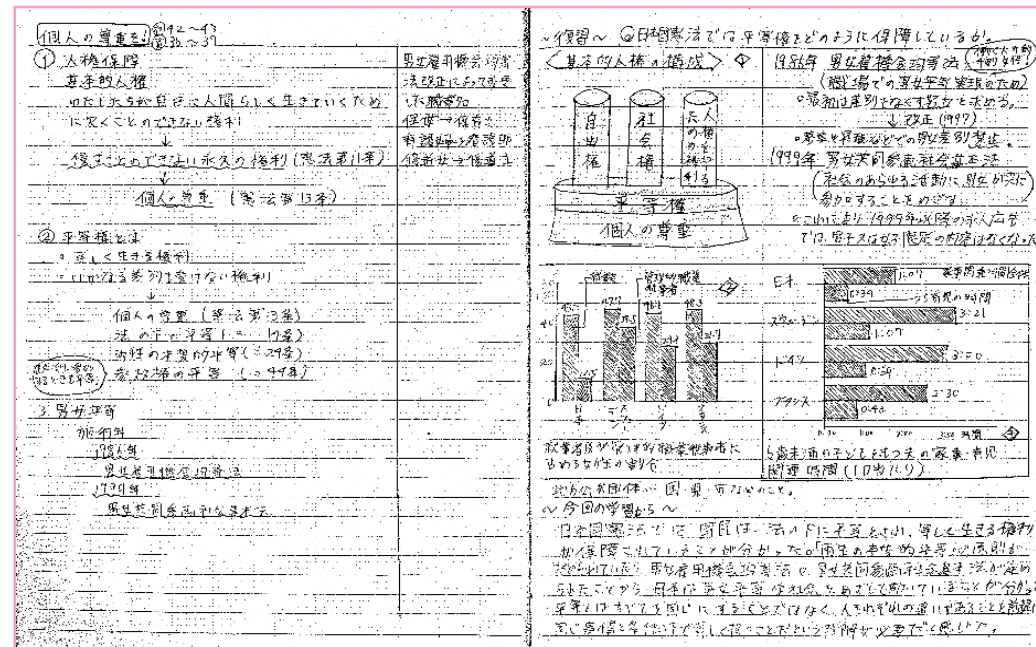
$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{45}}{-2}$$

$$x = \frac{-3 \pm 3\sqrt{5}}{-2}$$

$$x = \frac{3 \pm 3\sqrt{5}}{2}$$

分母は -2 だ
分子は -3
美しくない!!

＜ノートを見開きで使った例 社会科＞





学習時間を確保することだけでなく、学習の質を高めるためのポイントについて指導する。

まちがいを大切にしよう

答え合わせをする時に、○×や正しい答えを書くだけでは、学習の効果が半減します。どこで間違ったかを確認し、**繰り返さないためのポイント（教訓）**を自分の言葉で具体的に言語化することで、学んだことを自覚できます。

$$\begin{aligned} 2 \times (-5^2) \\ &= 2 \times (-5) \times (-5) \\ &= 2 \times 25 \\ &= 50 \end{aligned}$$

しっかり計算する



(-5^2) と $(-5)^2$ はちがう！



平成30年度全国学力・学習状況調査 中学校数学より

わたしの かいた 絵が コンクールで 金賞に 選ばれた。

主語

述語



文をよく読む



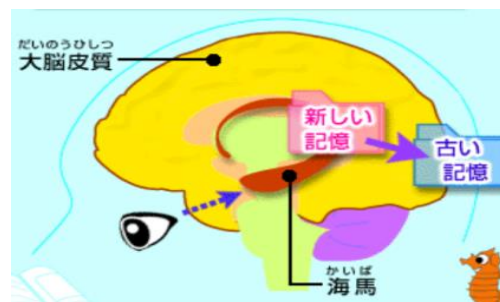
主語→「何が」！ 人や生き物とは限らない！



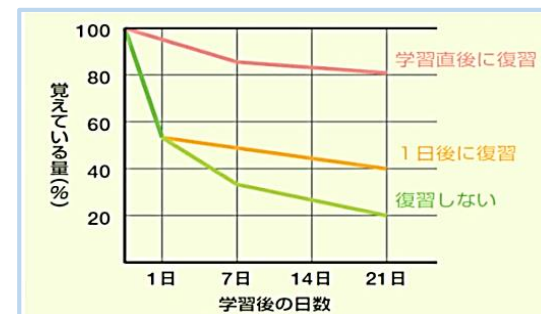
平成30年度児童・生徒の学力向上を図るための調査 小学校国語より

効果的な復習をしよう

脳に情報を残すには、繰り返し学習して重要な情報であることを「海馬」に認識させ、「大脳皮質」に長期保存させる必要があります。ポイントは「**短時間でも**」「**その日のうちに**」です。ノートを見返すだけでも効果的です。



海馬と大脳皮質（出典：日本学術会議HP）



エビングハウスの忘却曲線

効率的・効果的な復習のコツ

□ **まちがった問題に印をつけておき、復習する問題を絞る。**

（例：解説を見たら分かった…◎ ケアレスミス…○ 解説を見ても理解が難しい…△）

□ **寝る前に覚える学習をして、しっかり睡眠を取り、朝復習する。**

（脳は、情報が入ってこない睡眠中に記憶を整理し、定着させる準備をします。）

□ **目だけでなく、耳や手など多くの感覚で脳を刺激して学習する。**

（例：問題文を音読したり線を引いたりして読み飛ばしを防ぐ。声を出し書きながら覚える。）

主体的、計画的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるには…

自分で計画を立てて振り返ろう

児童・生徒自身が家庭学習の予定を立て、振り返りまで行うことで、効率的に時間を使ったり優先順位をつけながら取り組んだりする学習の自己調整力が身に付きます。帰宅したるすぐに、その日の授業を思い出しながら、宿題や復習・予習の計画づくりを習慣にすると、家庭学習をスムーズに始めることができます。

どんなことをどのくらい時間をかけたのかを記録すると、家庭学習が定着したことを実感できます。保護者からのコメントも大きな励みとなります。

<学習カードの例>

家庭学習 がんばりカード

日に	11月26日(月)	11月27日(火)	11月28日(水)	11月29日(木)	11月30日(金)
学習内容	宿題 音言読 ドリル45 ①プリント	宿題 音言読 言読書 ドリルノート ①②③ ④プリント スキル問題	宿題 音言読 ドリルノート ①②③ プリント2枚	宿題 漢字	宿題 音言読 ドリルノート ①②③ プリント
時間(分)	42分	57分	46分	5分	47分
今日の一言 (感想や反省)	漢字がむずかし かったの、ちゃんと 練習して、やり おほえたいです。	今日は、ずらずらと 早く解きました。 このうち、うん、かん はやりです。	テストが、これか らいろいろあると 思われる、しっかり 学習したいです。	学校から帰る まで、つかれたの で、勉強するの、 めんどくさいです。	プリントをやる のが、めんどくさい です。
おうちの人の からの一言	1週間、習 い進みました。日 で時間を計り学習し てほしい。おつかれさ ま。	集中して、早く 解きました。宿 題を始めることができ るようになってきました。	おうちで、勉強 の習慣が、おうちで 身につきました。毎 日、勉強してください。	おうちで、勉強 の習慣が、おうちで 身につきました。毎 日、勉強してください。	おうちで、勉強 の習慣が、おうちで 身につきました。毎 日、勉強してください。
先生のサイン					

<手帳を活用した例>

今週の目標、やるべきこと、来週の目標なども記録すると、時間を意識した行動、効率的な時間の使い方が身に付きます。

4	23 Monday	24 Tuesday
やること	やること・もうもの	やること・もうもの
1 吹奏部に入社したから	生徒会朝会	日直
2 テスト勉強	45分×4回	国語の教科書
3 早起き		
4 起床	起床	起床
5 朝食	朝食	朝食
6 出発	出発	出発
7 授業	①道徳 ②数学 ③社会 ④理科	①英語 ②技術 ③数学 ④社会
8 授業	⑤国語 ⑥保健	⑦理科 ⑧体育
9 授業	⑨国語 ⑩理科	⑪理科 ⑫体育
10 授業	⑬国語 ⑭理科	⑮理科 ⑯体育
11 授業	⑰国語 ⑱理科	⑲理科 ⑳体育
12 授業	㉑国語 ㉒理科	㉓理科 ㉔体育
13 授業	㉕国語 ㉖理科	㉗理科 ㉘体育
14 授業	㉙国語 ㉚理科	㉛理科 ㉜体育
15 授業	㉝国語 ㉞理科	㉟理科 ㊱体育
16 授業	㊲国語 ㊳理科	㊴理科 ㊵体育
17 授業	㊶国語 ㊷理科	㊸理科 ㊹体育
18 授業	㊺国語 ㊻理科	㊼理科 ㊽体育
19 授業	㊾国語 ㊿理科	㊽理科 ㊾体育
20 授業	㊿国語 ㊽理科	㊾理科 ㊿体育
21 授業	㊽国語 ㊿理科	㊿理科 ㊽体育
22 授業	㊿国語 ㊽理科	㊽理科 ㊿体育
23 授業	㊽国語 ㊿理科	㊿理科 ㊽体育

予定と実際を比較すると、うまくいったことや反省点が見えてきます。

3 Thursday 湯浅さき	4 Friday みどり
やること・もうもの	やること・もうもの
漢字テスト	教社7-7
数学ノート問題	上手にまとめ
社会ノート作り	
多読	
ねる	ねる
食事	食事
社会	社会
英語	英語
数学	数学
理科	理科
体育	体育
自由	自由
入浴	入浴
食事	食事
社会	社会
ねる	ねる



発達の段階に応じて、学習計画の立て方を指導したり学習内容を示したりする。

学習内容を自分で考えよう

「宿題」だけでなく、苦手を克服したり、学びの世界を広げたりするために、「自主学習」に少しずつ取り組みましょう。

指導のポイント
一人一人の取組を価値付け、そのよさを学級全体に広げましょう。

か	い	こ	の	じ	う	ぶ	つ	の	な	き	じ
ん											
ど	う	ぶ	つ								
ひ	っ	し									
う	ま										
か	え	る									
は	じ										
は	カ	ス									
小	チ	ュ									
ち	ホ	ー									
う	ン	ホ									
あ	ホ	ー									
み	ガ	ー									
た	モ	ー									
し	モ	ー									
い	わ	ん									
ぬ	わ	ん									
め	わ	ん									
い	わ	ん									
ん	わ	ん									
わ	ん										
ん											

<自主学習の取組例>

自分の課題に応じたメニュー

- ・漢字、計算練習
- ・音読
- ・間違えた問題の直し
- ・テスト直し
- ・学習内容のまとめ

自分の興味・関心に基づいたメニュー

- ・新聞スクラップ
- ・〇〇調べ、観察
- ・自分でつくった問題に挑戦

次の日の予習になるメニュー

- ・教科書に目を通し、疑問点に印をつける。
- ・教科書の例題を解いてみる。

学級活動で考えてみよう

※小学校：(3)ウ 中学校：(3)ア

<中学校の取組例>「自分に合った学習方法を考えよう」

○事前に行ったアンケート調査の結果から家庭学習の課題を共有する。

<家庭学習に関するアンケート>

- 自分の家庭学習を振り返って、当てはまるものに○を付けましょう。
①できている ②まあまあできている ③あまりできていない ④できていない
- ③④の原因は何だと思いますか。
- ①②で心がけていることは何ですか。
- 自分の家庭学習に関する課題は何だと思いますか。
- 学級の中で学習方法について聞いてみたい人を挙げてください。

○グループごとに1つの課題の解決に向けた工夫について話し合う。



○話し合った工夫を共有し、今後自分が実行することを意思決定する。

<生徒が出した課題例>

- 学習時間の確保
- 集中力の持続
- テストで点数を取るための効果的な学習方法

<生徒が話し合った工夫例>

- ・朝やすき間時間を使う
- ・趣味との区切りをつける
- ・教科をこまめに替える
- ・糖分や水分をとる
- ・電子機器を親に預ける
- ・少しずつ目標を立てる
- ・問題を何度も解く
- ・重要ポイントを書いて覚える

保護者と連携して取り組むためには…

家庭の協力を得るには、学校で児童・生徒に指導していることを伝えるとともに、家庭でできることを具体的に示すことが大切です。例えば以下の内容が考えられます。

学習を始めるタイミングを決めましょう

その日の予定に合わせていつ学習を始めるのか、すきま時間の活用も含めお子さんと考えましょう。

「帰宅したらすぐに」 「〇時になったら」
「習い事や部活のある日は夕食後の〇時から」
「朝食前の〇分間」 「就寝前の〇分間」など

やる気は脳の「側坐核」という場所で作られますが、この場所は目を覚ますまでに時間がかかります。「やらなきゃいけないのは分かっているけど、どうしてもやる気がでない」ときは、「まず机に向かって始め、10分は中断しない」姿勢が肝心です。

子どもと一緒に目標を決める

夢は大きく遠くに、目標は小さく身近におきましょう。目標は、クリアさせて褒めることで価値が生まれます。**達成できそうで、達成したいと思える目標を設定することが、学習の動機付けになります。**

やる気 = 期待 × 価値

(期待：自分にもできそうだという見込み 価値：自分が得るもの)

※「期待価値理論（アトキンソン）」による

学習に集中できる環境をつくりましょう

お子さんの「学習スイッチ」が入ったらすぐに始められるよう、また、他のことに気が向かないよう、

つい手に取ったり、着信が気になったりしないような、携帯ゲーム機やスマホなどの置き場所

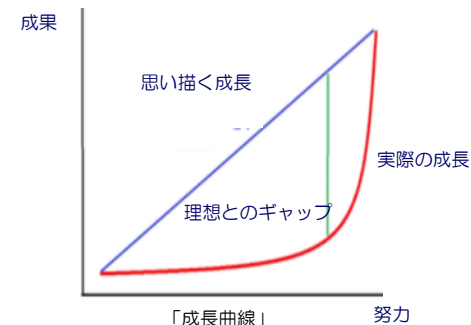
学校から持ち帰ったプリント類の整理の仕方

を決めておきましょう。また、リビングで学習する場合、テレビをつける時のルールをつくりましょう。

次につながるほめ方を工夫しましょう

がんばる過程をほめられると、テストの点数にかかわらず次もがんばろうという気持ちをもつことができます。お子さんの「結果」だけでなく、「思い」を認め、**ねぎらい**ましょう。努力が成果として表れるまでは時間がかかるものです。

また、叱るときは、**ついでに他のことを持ち出さないこと、叱りっぱなしにせず次への期待を伝えること**が大切です。



成長に応じや見守り方を工夫する

横についてできることをしながら声をかける

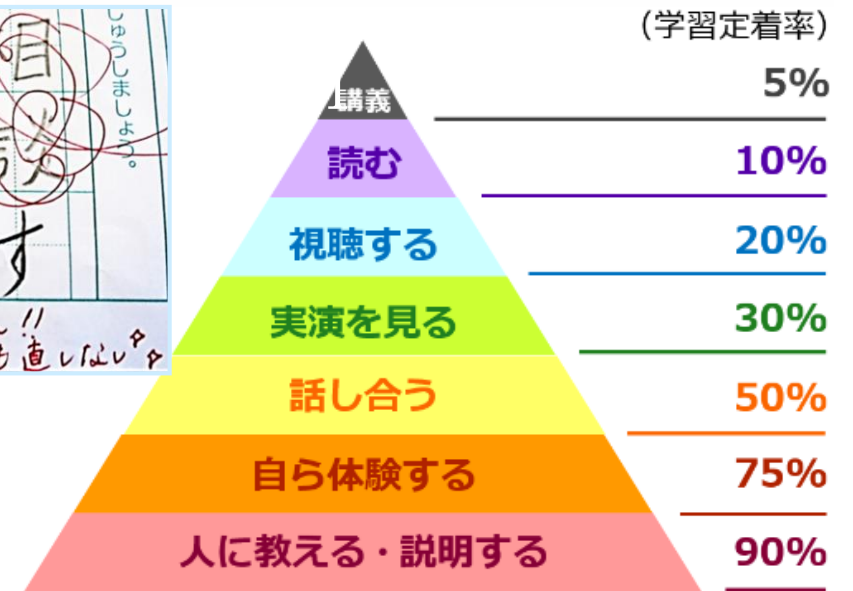
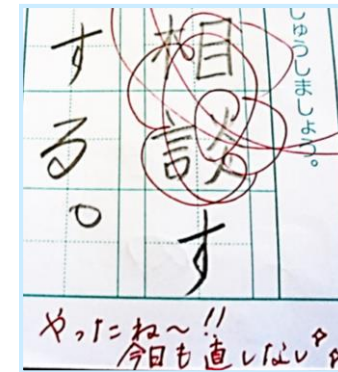
お子さんが喜ぶ方法で励ます（花まるをする、コメントを入れる…）

分からないところをいっしょに考える

学んだことを説明させる（人に教えることで学びが定着します）

手助けを求めてきたら、できることに応える

さりげない気遣いでサポートする



「ラーニングピラミッド」（アメリカ国立訓練研究所）

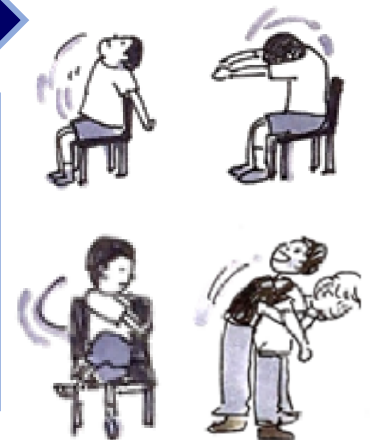
親子で読書をする

お子さんは親の姿を見て育ちます。まずは親がスマホを置いて本を手取る姿をお子さんに見せてはどうでしょう。1日15分、親子の読書タイムをつくったり、背表紙が見えるように本コーナーをつくったりするのもおすすめです。



親子で運動をする

運動をすると心拍数が上昇し脳の血流が増加します。思考力や集中力が高まるチャンスです。起床時や学習を始める前、集中力が切れたときに体を動かすと、脳が学習の準備を整えます。親子でも運動を習慣にできるといいですね。



学習者用端末を活用した家庭学習

学習者用端末を活用して、自宅等で学習を日常的に行うことは、家庭学習の質を高めるだけでなく、自立した学習者を育成する上でも必要です。学習者用端末の持ち帰りを安全・安心に行うためには、環境づくりに取り組むとともに、端末の管理の仕方や学習の目的・内容を、児童 生徒・保護者と共有することが重要です。

家庭学習カードのオンライン化

オンラインカード

11月 オンラインカード 画9

投稿日: 11

期限なし

①学習時間を入力しましょう。
②日記を書きましょう。
③提出しましょう。

17 提出済み 8 割り

※質問がありましたら、限定コメントをお使いください。

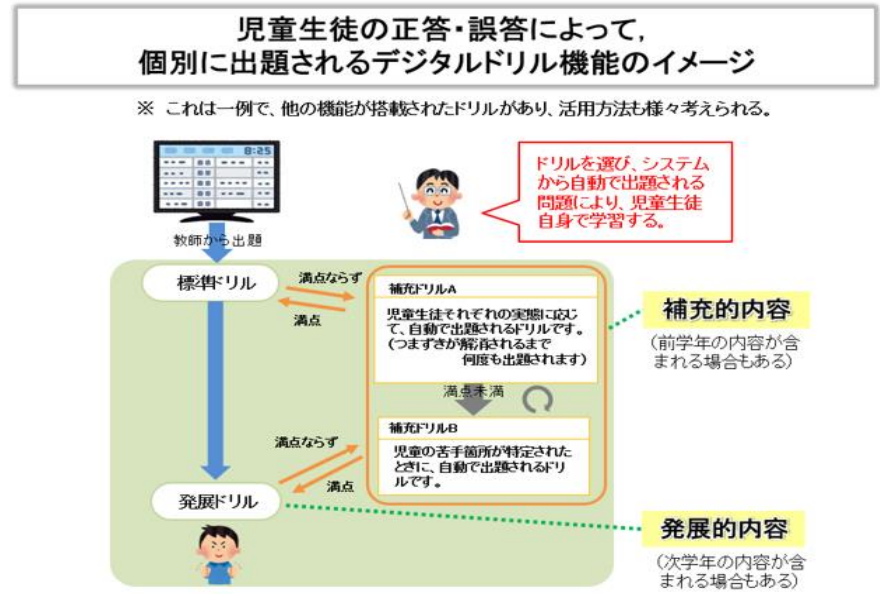
11月 スプレッドシート

クラスのコメント9件

音読 (●●●)	漢字 (●●●)	算数 (●●●)	マイプラン (●●●)	一言日記
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、大掃除をしました。自分たちで掃除機をかけました。とてもきれいになりました。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。
0:05	0:30	0:30	0:10	今日は、お友達と公園に行きました。とても楽しかったです。明日は、お友達と公園に行きたいです。

表計算ソフトで作成した家庭学習カードを共有することで、学習の予定や家庭学習の取組時間、一言日記などを記録することが可能になります。保護者、教師も児童・生徒の取組状況をいつでも確認することができ、コメント機能を使って評価や支援を行うことができます。

デジタルドリル



教師がその時間において達成の目安とする標準的な問題を子どもたちの端末に配信します。自動採点機能により、問題に正解すると、より発展的な内容の問題に取り組むことができ、誤答があった場合は、その内容に即して補充的な問題が出されます。

学習カードや家庭学習用のワークシートの配信



グループで協働学習を行う際、授業の導入時に学習カードのひな形を配信することにより、子どもたちは共同編集をしながら話し合い、学びを深めることができます。

同様に、教師が家庭学習用のワークシートを配信することにより、家庭でも端末を使って調べたり、友達と協力して課題に取り組んだりすることができます。

付箋操作のオンライン化



クラウド上のホワイトボード機能を使い、付箋を操作する共同編集をしながら、情報を整理したり、様々な情報から分かったことを書き込んだりすることができます。

家庭では、子どもたちが課題に対する個人の考えを事前に記入し、次の授業の準備を行うことができます。

授業 × 学習者用端末 × 家庭学習

①課題設定の場面

比較できる資料を提示するなどし、子どもたちが自ら課題をもち、計画的に課題解決に取り組むことができるようにします。

思い付いた解決策をクラウド上に残そう

解決に向けて、学習活動の計画を立てておこう

③整理・分析の場面

情報を整理・分析したことをクラウド上に蓄積し、子どもたちが個々の学びを共有できるようにします。

友達の考えを参考にして、自分のまとめに生かそう

②情報収集の場面

情報収集や蓄積の仕方、活用方法を指導し、子どもたちが必要な情報を収集し活用できるようにします。

教科書や資料集の情報をまとめよう

放課後に地域の人に取材をした内容をデータに保存しよう

④まとめ・表現の場面

まとめや発表の練習の様子を画像や動画等でクラウド上に蓄積し、子どもたちが自ら振り返ることができるようにします。

相手に伝わりやすいように発表原稿の構成を変えよう

学習者用端末の活用に向けた注意点

学校や家庭で学習者用端末を活用するに当たっては、健康への影響に配慮するとともに、子どもたち自らが健康に留意しながら、ICTを活用しようとする意識を高めることが大切です。

目を画面から30cm以上離して使う

○よい姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせましょう。

長い時間にわたって継続して画面を見ない

○30分に1回は、20秒以上、画面から目を離し、遠くを見ましょう。

○目が乾かないよう意識的に時々まばたきをしましょう。

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさなどを調整する

○画面の反射や画面への映り込みを防止するために画面の角度や明るさを調整しましょう。

時間や学習内容を決めて使う

○例えば「寝る1時間前には使用を控える」など、家族といっしょに使い方のルールを決め、目標を立てた上で活用しましょう。

生成AIの教育利用における基本姿勢

児童生徒の利用は、利用規約（年齢制限・保護者同意等）を遵守

学習活動の中で生成AIを利用する場合、以下のチェックリストで確認



- ☐ 情報モラルを含む情報活用能力が育っている。
- ☐ 教育活動の目的が達成される生成AIの活用である。
- ☐ 安易に生成物のコピー・流用させる活動ではない。
- ☐ 感性や独創性等、思考力を阻害する活動ではない。

生成AIの家庭での利用における基本姿勢

家庭では、スマートフォンや個人PCで生成AIの利用が可能になることから、生成AIの安易な利用につながらないようにする必要があります。

- ① 生成物を自分で作成したと装って提出することは「不正行為」であることを、あらゆる機会をとらえて指導していく。
- ② その上で、教員側も次のような工夫を考える。
 - 授業中に教員が説明した内容を踏まえたレポートの作成
 - 創作した文章に対して、教員やクラスメートと書いた内容や表現の意図などを意見交換
 - 探究活動など、必ず引用元や参考文献を明示するように指導等

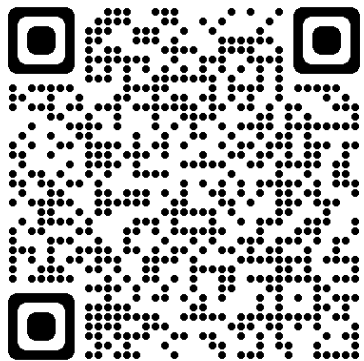
Google Jamboardのサービス終了について

令和6年12月31日でサービスが終了となります

FigJam(フィグジャム)

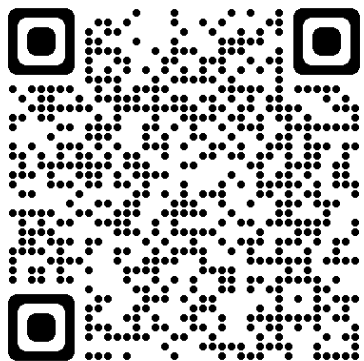
<https://www.figma.com/ja/figjam/>





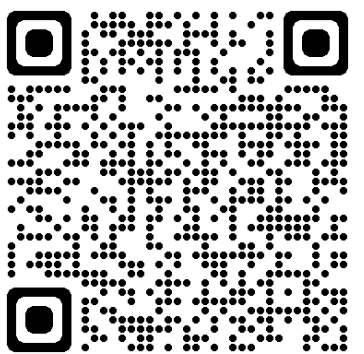
学びの支援サイトを活用した家庭学習の進め方（東京都教育委員会）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/learning_support.html



東京ベーシック・ドリル

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/tokyo_basic_drill.html



子供の学び応援サイト【文部科学省】

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm